



ご当地 **よ坊さん** 茨城
みがこーモン

茨 歯 会 報

No.530

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

April
2013
平成25年

4



Contents

デンタルアイ	1
渡辺 進	
会務	3
理事会報告	7
会務日誌	8
医療管理委員会だより	12
学校歯科委員会だより	13
センターだより	17
専門学校だより	21
地区歯科医師会だより	24
福田 真之	
事務連絡	27
茨歯アンテナ	28
赤えんぴつ	29

表紙写真について

朝日トンネルの開通により、つくば市からもアプローチしやすくなったフラワーパークの一枚。ダリア・ベゴニア展開催中で温室の中はまさに花の玉手箱でした。

(社)茨城県つくば歯科医師会 小林健一

DENTAL eye

茨城県歯科医師会「脱タバコ宣言」 (いまさらながらPM2.5)



常務理事
渡 辺 進

平成24年12月5日「茨城県歯科医師会100周年」記念式典において、「脱タバコ宣言」が発表されました。

宣言は、1年ほど前より理事会でご協議頂き9月の理事会で最終案が了承されました。もちろん理事の先生の中にも喫煙される先生もいらっしゃいます。しかし我々学術団体である歯科医師会がこの宣言を行う事は、個人としてタバコを吸っていたとしても宣言を否定するものではない、という結果となりました。タバコがガンをはじめとする全身疾患や、歯周病の原因となっていることから歯科医師会としてとるべき姿勢であると思います。

平成22年より茨城県歯科医師会で行っている禁煙支援・相談歯科医院も308診療所となり、累計の相談件数も2,741件となっています。

口腔から全身の健康を目指している訳ですから、口腔の健康の為に「脱タバコ」となる訳です。

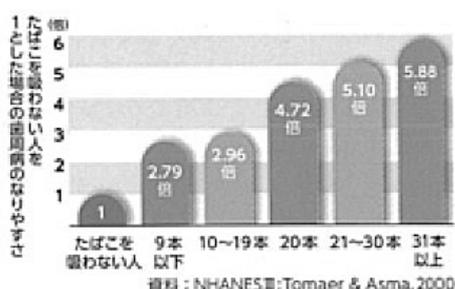
話は変わりPM2.5の報道ですが、北京では環境汚染で有名なこの物質の濃度が400-900 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ まで達する事で、全世界を驚かせました。

PM2.5は粒子状物質 (Particulate Matter) で、直径が2.5ミクロン以下の小さい粒子です。呼吸で肺の奥まで侵入し、濃度の高い地域の住民の死亡率が高くなる事で注目されています。具体的には、心臓病、気管支喘息、肺がんなどが増加します。研究の結果より、WHOは規制すべき目標を大気中のPM2.5で「1年平均値で10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 未満、1日平均値で25 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 未満」とすることを勧告しました。

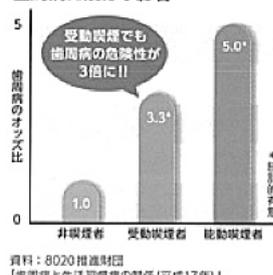
しかし、ここで忘れていけないのは、タバコの燃焼によって発生する煙もPM2.5である事です。禁煙でない飲食店のPM2.5は、200-800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に達します。

もちろん家庭において喫煙者がいる場合も室内のPM2.5濃度は上昇します。このことが受動

1日あたりの喫煙本数と歯周病の関係



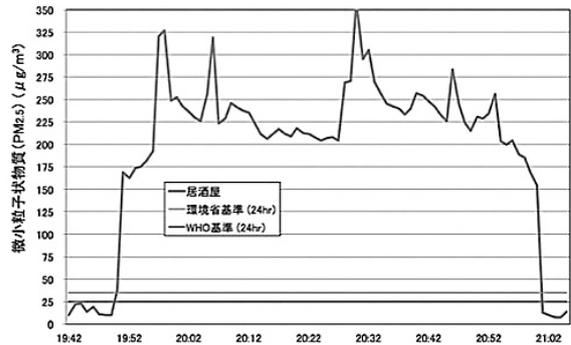
受動喫煙(副流煙を吸うこと)が歯周病に及ぼす影響



喫煙による「がん」発症率の上昇や歯周病の罹患率の上昇に繋がっています。

隣国の環境汚染問題で報道される機会が増えたPM2.5ですが、たばこの煙は昔からこの範疇に入り、粒子の性状と併せ4,000種類の化学物質と60種類の発ガン物質を含んでいます。セシウム137より怖いポロニウム200も含まれています。

かなり昔からタバコの煙による、PM2.5の問題は課題となっていました。





We try best!
For healthy and white teeth

本社	〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7	TEL 03-3832-8241
水戸支店	〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18	TEL 029-225-6543
宇都宮支店	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6	TEL 028-613-5858
松戸支店	〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366	TEL 047-345-3131
野木支店	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15	TEL 0280-56-0567



株式会社 岩瀬歯科商会

千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所

会務

水戸口腔センターでの全身麻酔歯科治療導入に関して

公益社団法人茨城県歯科医師会

会長 森永 和男

本会は4月1日をもって公益社団法人の登記を行うことができました。これも会員各位のご理解、ご協力の賜物でありまして、感謝申し上げます。

この公益法人申請に際しての一つの目玉として、水戸口腔センターでの全身麻酔歯科治療の導入があります。詳細な説明はここでは省かせて頂きますが、公益認定の条件で遊休財産保有制限問題があり、この制限から除かれるような公益目的の資産取得計画が求められました。本会の遊休財産額は本会会館の将来（30年後）の大規模改修費用にその多くを充てますが、その他に全身麻酔設備の購入費用を計上する事としました。

水戸口腔センターにおける障害者（児）への全身麻酔下歯科治療は、平成18年に竣工した本会会館建設の折りに検討されましたが財政的問題で先送りされた経緯があります。

会員の皆様には障害者（児）歯科治療における全麻下での歯科治療の必要性は認めつつも、それを県歯で行う事に対して設備投資やランニングコスト等に疑問を持たれている方もいらっしゃると思いますので、今回私の考えと現状を説明させて頂くこととしました。

口腔保健法が制定された現在、障害者（児）の歯科医療に対するニーズは高まっております。この現状を踏まえ、二次医療機関としての水戸口腔センターの充実を図り、県民の障害者（児）歯科

医療に対する正しい理解を求めなければなりません。その二次医療機関としての確立のためにはどうしても全身麻酔設置の必要があります。この点は是非ご理解を頂きたいと考えております。

会館建設時の考えでは常勤の麻酔医を検討していたようですが、今般の計画では常勤の麻酔医を置くことを想定しておりません。現在、センターでは静脈内鎮静法を用いておりますが、そのケースの中から全麻の適応症例を選ぶこととなります。具体的な数字は今の時点では申し上げ難いのですが、多くても月に数件だと考えております。その際のランニングコストですが、麻酔医への報酬と、全麻機械メンテナンス費用、薬剤費用になります。麻酔医への報酬は日額での支給で、現在の静脈内鎮静法プラスアルファで1日当たり3万6千円であります現状では全麻実施日は月に2日を超えることは想定していませんので、その他の費用を含めても、全身麻酔の保険料収入のプラス面もあり、年間の収支で大きなマイナスとなることはないと思います。

例え経費的にマイナスが出たとしましても、水戸口腔センターでの障害者（児）歯科治療は地域における第二次医療機関としての性格も持つわけであり、地域歯科医療を担う会員が作る組織として茨城県歯科医師会が社会に貢献するために負担できる範囲のものだと考えております。

第151回定時代議員会あいさつ

公益社団法人茨城県歯科医師会
会長 森永 和男

本日は大変お忙しいところ、第151回定時代議員会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。

顧問弁護士の大和田先生、顧問公認会計士の坂本先生、そして茨城県歯科医師連盟の高野会長にもご出席頂き感謝申し上げます。特に坂本先生には4月から発足予定の公益法人設立に対して、並々ならぬご努力を頂いたことを代議員会の先生方にご報告申し上げますと同時に坂本先生に対して、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。

さて、一昨年の中東大震災からこの3月で丸2年が過ぎました。我々、現執行部もこの大震災と同時に行動をおこし、ここにきての事を考えますと感無量の感がございます。茨城県内はどうかある程度の落ち着きを取り戻しつつありますが、過日の報道ではいまだに11万人の人たちが避難を強いられ、不自由な生活を送られていることを聞きますと、この方たちへの心の支えに寄与して行かなければならないと考えております。

また政界に目を向けてみますと、先生方もご承知のように昨年の12月の衆議院選挙は自民党の大勝に終わりました。現在はアベノミクスと言われる円安、株価上昇と明るい兆しがあるかのように報道されております。私自身もこの事は大変結構な事と思いますが、我々としては、この動向をこれからしっかりと見極めて行かなくてはならないと考えております。私の不安としてはまた小泉政

権時代の考え方に戻り、経済市場主義が頭をもたげてくるのではないかという事です。

竹中平蔵氏を知恵袋としている維新の会においては、歯科は混合診療で儲けているから歯科に対する医療費は考えなくてもよいとまで解答がされています。この竹中氏が安部内閣の知恵袋になったと聞き及んでいます。

いつも申し上げている通り、日本の立国は人の健康と教育なくして発展なしと考えております。安部内閣に今後しっかりと日本の在り方を考えて頂き、立国の柱としての健康の重要性を打ち出して頂きたいと思っております。その方向性を間違わない為にも、十分に歯科を理解して頂いている歯科議連の先生方と話し合いを持って行かなければなりません。

このような意味で、今年の7月に行われる参議院選挙においてどうしても石井みどり先生を国会に送らなければなりません。この詳しいお話は連盟の高野会長にお願いする事と致します。

さて新執行部になって2年が過ぎようとしている茨歯会について話をさせていただきます。

前回の代議員会で強い歯科医師会、すなわち県民に歯科医師の存在をアピールでき、信頼を持たれるステータスの地位を確保するためにはどうしても3つの事を進めなければなりませんと申し上げました。その一つが県庁での常勤歯科医師の必要性でありましたが、お陰さまで常勤歯科医師の配置が橋本知事の深いご理解のもと決定した事を報

告させて頂きます。

この常勤歯科医師の必要性は先生方に常に訴え続けて参りましたが、この事によって行政とタイアップしてプロジェクトチームを立ち上げて行くことが出来る事は歯科医療発展につながると確信しております。これによって県民の健康を維持するための医科歯科連携を図り、体は一体である事を横のつながりで考えていくことが可能となりました。幸い茨城県医師会の斎藤会長には並々ならぬご協力を頂いて、この横のつながりを構築する努力をさせて頂いております。早速4月には実行に移せるように「医科歯科連携協議会」を、行政を中心に発足するよう準備を進めております。まずはSAS対策、周術期のがん対策になるかと思いますが、これをさらに発展させ、医療界の縦、横のつながりを強固にして行く事を考えております。

また、2番目に上げさせて頂きました公益法人の問題におきましては4月からの発足に向けてまして着実に進行しております。この過程においては

定款の全面改定見直し、さらに会員に分かりやすくするためITの充実等、理事の先生方には正月も返上して努力して頂いたことに対して、本当に頭の下がる思いであります。これらにつきまして、後程、小林会計常務理事の方から詳しく説明させて頂きます。

また3番目に挙げました専門学校の問題に関しては別に時間を取って田中理事からご苦勞を含めて詳しく経過を説明して頂きますのでよろしくお願ひ致します。

その他、業務改革をはじめ、たくさんのこれからの企画についてご報告したいのですが、時間の制限もありますので、後程の協議事項で対応させて頂きます。

最後になりますが、茨城県歯科医師会が強い団結力を持って、常に前向きな姿勢を崩さず県民医療の礎になるよう、これからも努力して参りますので、今後とも先生方のご協力、ご支援をよろしくお願ひ致しましてあいさつとさせて頂きます。

平成24年度会員功労者・永年勤続従業員を表彰

第151回定時代議員会の席上、会員功労者、永年勤続従業員として次の方々を表彰した。

(順不同、敬称略)

会員功労者			永年勤続従業員		
氏名	(支部)	功績	氏名	(県)	功績
小澤辰巳	(水戸)	在会50年以上	須賀文男	(県西)	代議員6年以上
白井健祐	(水戸)	在会50年以上	橋本正一	(西南)	代議員6年以上
大澤壽一	(水戸)	在会50年以上	安藤進平	(鹿行)	委員会委員10年以上
片岡暎儔	(東西茨城)	在会50年以上	石浜寛隆	(県西)	委員会委員10年以上
征矢亘	(日立)	役員6年以上	荻野義重	(土浦石岡)	委員会委員10年以上
青木秀史	(県西)	代議員6年以上	小林裕二	(土浦石岡)	委員会委員10年以上
島田理	(県南)	代議員6年以上	佐藤淑朗	(西南)	委員会委員10年以上
			柴海造	(土浦石岡)	委員会委員10年以上
			林寿	(鹿行)	委員会委員10年以上

丸山憲一 (鹿行) 委員会委員10年以上
 吉田孝生 (東西茨城) 委員会委員10年以上
 木下克己 (東西茨城) 審査委員4年以上

永年勤続職員

氏名 (所属)
 山田肇 (歯科技工士科) 勤続30年
 福地真由子 (学校事務局) 勤続20年
 須能慶子 (本会事務局) 勤続20年

永年勤続従業員

氏名	職種	会員氏名
石崎典子	歯科衛生士	伊藤幸夫
小泉綾香	歯科衛生士	宮井隆
小笠原恵子	歯科助手	中嶋健二
大塚藍海	歯科技工士	吾妻周一
倉田香織	歯科助手	岡崎恵一郎
海老原恵	歯科助手	會澤臣
久家三貴子	歯科衛生士	會澤臣
大園佳奈子	歯科衛生士	後藤勉
宮崎有美	歯科助手	吉田文典
松下二奈	歯科助手	吉田文典
蛭原朋美	歯科助手	吉田文典
仙石礼子	歯科助手	片桐武美
飯塚弘美	歯科助手	片桐武美
吉川仁美	歯科助手	片桐武美
藤家純子	歯科助手	久保田滋
橋本美智子	歯科衛生士	薄井稔
黒須香織	歯科衛生士	薄井稔
染谷明子	受付	北村陽太郎
丸澤恵子	歯科衛生士	青砥聖二
會澤麻衣美	歯科衛生士	樋之口修一
菱沼香織	歯科衛生士	福田輝幸
吉成由貴	歯科助手	清水幾太郎
八木澤瑠美	歯科衛生士	曾雌隆
永井麻奈実	歯科助手	河原重信
大沼宏子	歯科助手	石田尚身

沢辺政江	歯科衛生士	石田尚身
福島朋美	歯科衛生士	中井巳智代
野村真澄美	歯科助手	中井巳智代
島田智美	歯科助手	菊池米彦
蛭田康博	歯科技工士	比佐進吉
坪山春奈	歯科衛生士	大山真生
真中叶子	歯科衛生士	今井厚子
鹿野谷知美	歯科衛生士	照屋昇
後藤夏希	受付	榊正幸
水野博子	歯科助手	杉山悟
箕輪沙織	歯科衛生士	須藤文彦
清水絵理子	歯科助手	高木伸子
長島佐織	歯科衛生士	高木伸子
小守陽子	歯科助手	高木伸子
黒澤恵美	歯科衛生士	大岡容子
鈴木恵子	歯科助手	太田ゆかり
綿引真実	歯科助手・受付	岸上和由
田中美姫	歯科衛生士	川嶋一則
水柿愛	歯科衛生士	柴沼博之
廣原旭	歯科助手	吉田敏男
板倉幸子	歯科衛生士	中川威
井原明美	歯科助手	中川威
作山英子	歯科助手	小野道範
有我佳純	歯科助手	根本一行
田中麻美	歯科衛生士	根本一行
林由佳	歯科助手	楠美淳
秋元麻美	歯科衛生士	串田淳子
廣原里絵	歯科助手	新堀敏也
山本睦美	歯科助手	新堀敏也
塚本実希	歯科衛生士	小野寺宣夫
柴紗恵子	歯科衛生士	李徳操
荒木里菜	歯科助手	李徳操
栗原加奈	歯科衛生士	河合竜志
水野紀子	受付	井坂純
堀之内舞	歯科助手	本間雅彦
佐々木恵美	歯科受付	本間百合子
山田阿弥	歯科助手	高瀬順年

理事会報告



第12回理事会

日時 平成25年3月13日（木）午後4時

場所 茨城県歯科医師会館 役員室

1. 報告

- (1) 一般会務報告
- (2) 会計現況報告
- (3) 退会について

退会年月日	氏名	事由	支部
H25.2.25	飯村 健	死亡	つくば
H25.3.1	中島 常行	死亡	鹿行

(会員数 1,319名)

- (4) 公費負担番号の導入について
阿見町
- (5) 公費負担番号の導入について
笠間市
- (6) 障害者歯科センター講習会開催について
平成25年6月9日（日）13：00～15：30
障害者歯科センター講習会 茨歯会講堂
- (7) 茨城県との災害時協定の締結について
3月11日茨城県と再締結を行った
- (8) 役員の任期について
役員の任期延長について確認した。
- (9) 平成24年度子どもを守る110番の家ネットワーク会議について
 - ・報告は3月会報に掲載。
 - ・広く県民にアピールするため、HPに「子

どもと女性を守る110番の歯医者さん」について掲載する。

- (10) 疾病共済金の支払いについて

県南支部 1名

- (11) 各委員会報告について

医療管理委員会、社保委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 映画「天心」の支援について
チケットの購入にて支援することとした。
- (2) 第93回定時総会について
標記総会の日程、議事について確認した。
- (3) 第151回代議員会追加議案について
2件の追加議案について承認した。
- (4) 第151回代議員会事前質問について
事前質問12問に対する答弁者を決定した。
- (5) 平成25年度歯科助手講習会の受講料について
標記受講料について協議した。
- (6) その他
 - ・会報の他団体への送付は3月で打ち切りHPにUPする。
 - ・公益社団取得が完了したら、ロゴマークの商標の再取得を行う。
 - ・25年度歯の衛生に関するポスターコンクール募集要項及び審査会について県と協議をする。

会務日誌

- 3月13日 第12回理事会を開催。映画「天心」の支援、第93回定時総会、第151回代議員会追加議案、代議員会事前質問、平成25年度歯科助手講習会の受講料について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 3月13日 第3回講師会を開催し、進級判定・単位認定、特待生の選考について協議した。
出席者 小鹿校長ほか16名
- 3月14日 県後期高齢者医療広域連合の第2回運営懇談会が赤塚ミオスにて開催された。
出席者 征矢専務
- 3月14日 第172回日歯代議員会が日歯会館にて開催（～15日）。公益社団法人への移行登記に向けて、移行認定申請に必要な定款改正と、それに係る諸規則や福祉共済規則及び年金規則改正、平成25年度の事業計画、収支予算などについて議事が、その後時局対策について審議が執り行われた。
出席者 森永日歯代議員ほか2名
- 3月14日 第9回連盟理事会を開催。第73回連盟評議員会、3月31日「石井みどりを励ます会」、事務局職員人事、パーティー券の購入について協議を行った。
出席者 高野連盟会長ほか17名
- 3月14日 第73回連盟評議員会を開催。連盟規約の一部を改正する規約案、平成24年度連盟会計収支第2次補正予算案、平成25年度事業計画、会費の額及び徴収方法案、平成25年度連盟会計収支予算案、連盟役員選挙、日歯連盟評議員・予備評議員選挙について議事を執り行った。
出席者 大金評議員会議長ほか46名
- 3月14日 第3回連盟選挙管理委員会を開催。連盟役員の選挙、日歯連盟評議員・予備評議員の選挙をそれぞれ執行した。
出席者 高崎連盟選挙管理委員長ほか6名
- 3月15日 第126回日歯通常総会が日歯会館にて開催。公益社団法人移行認定申請に必要な社団法人日本歯科医師会定款の改正、公益社団法人移行認定申請に係る諸規則の改正や平成25年度の事業計画、収支予算などについて協議された。
出席者 森永ほか2名
- 3月16日 いばらき専門カレッジリーグ合同進路説明会が水戸市内にて開催され、本校ブースへは6名の参加者があった。
- 3月18日 内外情勢調査会3月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 3月18日 県医師会において主治医研修会が開催され、介護保険制度における主治医の役割について

の理解を広げるため、介護保険制度、在宅歯科医療連携室、ケアマネジャーの役割について講演が行われた。

出席者 土子県民歯科保健委員会介護保険部会長

3月20日 多職種協働による在宅医療を担う人材育成事業「地域リーダー研修」が水戸市にて開催された。

出席者 征矢専務ほか12名

3月21日 第151回定時代議員会を開催。公益社団法人移行に関する案件、平成24年度会計収支補正予算案件、平成25年度事業計画、会費・負担金賦課徴収方法案、平成25年度予算案について議事を執り行った。

出席者 小澤代議員議長ほか60名

3月21日 第93回定時総会を開催。茨歯会定款案の訂正等に関する件について議事、その後は定款第33条2)に規定する報告を行った。

出席者 61名

3月21日 労働保険事務組合・報奨金に関する水戸会場での説明会がホテルレイクビュー水戸にて開催され、報奨金交付事務手続に関する説明が行われた。

出席者 須能

3月22日 第118回日歯連盟評議員会が日歯会館にて開催される。日歯連盟規約・諸規則の改正、平成24年度一般会計収支第3次補正予算、平成25年度事業計画、会費の額並びに徴収時期、一般会計をはじめとする諸会計収支予算案件、次期役員（会長、監事）の選出について議事が執り行われ、その後次期参議院比例代表選挙への対応について審議された。

出席者 高野日歯連盟評議員ほか1名

3月24日 口腔ケア講習会（アドバンス・コース）が茨歯会館にて開催され、要介護高齢者への食支援をテーマに講習を行った。

受講者 78名

3月24日 第2回介護保険部会を開催し、次年度事業の原案について協議を行った。

出席者 仲田県民歯科保健委員会副部長ほか9名

3月25日 茨城県防災会議が県庁にて開催され、茨城県地域防災計画の改定について協議された。

出席者 森永会長

3月25日 歯科専門学校にて第4回体験入学を実施。歯科衛生士科に16名、歯科技工士科に3名の参加があった。

3月26日 がん患者医科歯科連携推進事業に関する伝達講習会が全国7ブロック連携事業担当者を対象として日歯会館にて開催され、連携事業のさらなる普及促進を目指しての講習が行われた。

出席者 征矢専務

3月26日 都道府県情報管理担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、日歯・都道府県歯文書共有システム、情報管理規程・ガイドラインについて協議が行われた。

出席者 飯島総務・IT委員会副部長ほか1名

- 3月26日 全国歯科衛生士教育協議会総会および同協議会設立50周年記念の会が飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにて催された。
出席者 田中教頭
- 3月27日 茨城県看護協会の訪問看護ステーション「絆」竣工式が水戸市にて行われた。
出席者 森永会長
- 3月28日 未就業歯科衛生士復職支援のための第2回講習会を開催。講義とプロビング実習を行い、その後希望者に対して就職相談を行った。
受講者 8名
- 3月28日 第4回選挙管理委員会を開催。会長予備選挙について立候補者の資格審査を行い、その後役員選挙について協議した。
出席者 高野選挙管理委員長ほか6名
- 3月31日 参議院議員石井みどり先生を招いて茨歯会館において励ます会を開催。高木日歯連盟会長をはじめとする来賓の方々による祝辞の後、石井先生がこれまでの国政報告と再び国会を目指す二期目への決意表明をされ、最後は来場者による「頑張るぞコール」にて幕となった。
参加者 139名
- 4月 4日 平成25年度第1回厚生委員会を水戸市にて開催し、今年度事業計画、支部対抗ゴルフ大会、支部対抗ソフトボール大会、歯の健康フェスティバルについて協議した。
出席者 千葉厚生部長ほか10名
- 4月 4日 平成25年度第1回学校歯科委員会を開催。日学歯基礎研修会の運営、今年度の学校歯科保健研修会、ポスターコンクール審査会について協議を行った。
出席者 長谷部学校歯科委員会部長ほか8名
- 4月10日 茨城歯科専門学校平成25年度入学式を挙行。歯科衛生士科53名、歯科技工士科21名の入学を許可した。
- 4月10日 第1回社会保険正副委員長会議を開催。第1回委員会、今年度の委員会の予定、予備委員との連携について協議した。
出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 4月10日 第1回社会保険委員会を開催。委員の紹介を行い、今年度事業予定、委員・予備委員との連携について協議した。
出席者 森永会長ほか23名
- 4月11日 歯科専門学校全学生を対象に特別講義を開催。前茨城県副知事の上月良祐氏を招いて「茨城の魅力、課題と将来展望」をテーマに講演を行った。
- 4月11日 平成25年度第1回連盟理事会を開催し、6月9日「石井みどりを励ます会」次第、石井みどり支援者名簿、参議院議員選挙対策、平成25年度日本歯科医師連盟褒賞受賞候補の推薦、「デンタルミーティング」報告書の提出、パーティー券の購入、行事予定について協議を行った。
出席者 高野連盟会長ほか15名
- 4月11日 第1回連盟広報部会を開催。連盟ニュースの発行について協議した。

出席者 比企連盟広報部長ほか4名

4月11日 第1回連盟渉外部会を開催し、参議院選挙に向けての対策について協議を行った。

出席者 小林連盟渉外部長ほか4名

4月13日 都道府県歯科医師会医療安全担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、協議会終了後の研修会の趣旨説明及び運営について連絡・協議が行われた。

その後、日歯主催による医療安全研修会が開催され、「診療所の医療安全向上への取り組み—医事処理システムの新たな構築に向けて—」をテーマにした研修と、各都道府県歯科医師会の医療相談や苦情、医事紛争等への取り組みについての発表が行われた。

出席者 村居常務

アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

火災保険

所得保償保険

小規模企業共済制度

自動車保険

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

医療+管理委員会 だより

第2回歯科衛生士復職支援講習会

医療管理委員会 須藤 孝秀

平成25年3月28日（木）、茨城県歯科医師会館にて第2回歯科衛生士復職支援講習会が開催されました。

第1回目は昨年7月19日に開催され、事前に読売新聞に記事として取り上げられたのが功を奏し21名の参加を得ました。今回は9名応募し、8名の方が参加しました。一見激減とも思える数値ですが、参加なさった方々の多くが終了後「またこのような講習会に参加したい。」と述べるとともに、再受講を希望し登録して頂いたことは今後潜在衛生士の顕在化に向け大きな期待ができるものと思われま

す。当日の概要を述べます。午前10時に森永県歯会長の挨拶後、茨城歯科専門学校歯科衛生士科の須藤輝代先生による歯周疾患に関する講義あり、次にPMTCについて衛生士科の先生方の指導のもと実技を行いました。その後希望者には就職相談の場を設けました。

当初、緊張の見られた受講者の方たちも次第に打ち解け、衛生士科の先生に指導を受けながら現在の悩みなどを相談している様子も見られまし

た。やはり休職期間が長くなるほど技術レベルやスキルの問題だけでなく様々な不安が重なりあい、それが歯科衛生士の潜在化を招いているように思えました。したがって歯科医院側も即戦力としてすぐ結果を求めず育てていく姿勢が必要なかもしれません。とは言え、その様な余裕のある歯科医院がどれほどあるのかという点が今後問われてくる可能性があります。

他県の状況を見ますと歯科衛生士復職支援の取り組みはなかなか成果が上がっておりません。一番の問題は潜在衛生士そのものの把握の難しさです。しかし茨城県歯科医師会においてまだ2回目で評価を下すには早いのですが、今回の講習会を見た限りにおいては少し希望の芽が出て来たような気がしました。

今回、衛生士科の先生方においてはお忙しい中4名の方にご協力を頂きました。不安を抱えて参加なさった受講者にとって同じ衛生士として相談に乗ってもらえたのはとても心強かったのではと思います。この紙面をお借りして改めてお礼申し上げます。



第82回 日本学校歯科医会総会報告

学校歯科委員会 長谷部 和子

平成25年3月27日（水）午後1時30分より日本歯科医師会館において社団法人日本学校歯科医会第82回総会が行われ、本会から代表会員として鈴木副会長と私が出席しましたので、その概要を報告いたします。

氏名呼は受付名簿にて省略され、出席人数の確認報告により総会開催確定後、山科副会長の開会の辞、議事録署名人の指名がありました。続いて、前松島日学歯会長以下第81回総会以降の物故会員54名に対して黙祷が捧げられました。

昨年秋より体調を崩されて休職中であった中田会長が3月1日付けで辞職され、規程により、中田会長の残任期間中 金森副会長が会長代行として会務執行に当ることが報告され、「いつの時代においても子どもが宝。そのような子どもの成長に、学校歯科保健活動を通じて、非常勤の職員として学校に関わる学校歯科医は、すばらしい教育者の一員だと、心に命じて頑張っていたきたい」と挨拶されました。

平成24年度会長表彰は223人を被表彰者と決定した経緯が報告され、出席した32人に記念品と賞状が送られました。本県からは、以下の先生方が表彰されました。誠にありがとうございます。

飯塚 卓先生 大金 誠先生
小竹 勝也先生 鈴木 重彦先生
野溝 正志先生

続いて、来賓の日本歯科医師会大久保会長、文部科学省スポーツ青少年局学校健康教育課長より

挨拶がありました。

報告事項として、会務現況報告が土屋常務理事より、会計現況報告が藤平常務理事より、各種委員会報告が黒住副会長よりありました。会長予備選挙については、選挙管理委員会より、清水恵太先生と丸山進一郎先生との選挙となり、投票の結果、清水恵太先生が当選されたことが報告されました。続いて中間監査報告が大藪監事よりありました。その他の報告として、一般法人への移行の時期については、執行部が変わる6月までの移行を目指していたが、内閣府への申請書の再提出が必要になるなどの諸事情から、移行登記は新執行部就任後となる見通しが黒住副会長からありました。

議事に入り、第1号議案「学校歯科医生涯研修制度規則の一部改正の件」が執行部より上程され審議の上、可決承認されました。これまでの基礎研修に加え新たに専門研修が明記されました。また、基礎研修修了者に交付される修了証の有効期間が受講した翌年度から7年となりました。専門研修については、実施主体は日学歯、受講資格は基礎研修を修了した日学歯正会員・基礎研修修了4年以内、研修修了者には専門研修修了証が交付され有効期間は7年となり、専門研修修了証を交付された者で学校歯科医経験年数が5年以上の者は、「生涯研修修了学校歯科医証」の交付を申請できることになりました。詳細は日本学校歯科医会ホームページをご覧ください。

続いて、第2号議案「社団法人日本学校歯科医会平成25年度事業計画」、第3号議案「社団法人日本学校歯科医会平成25年度収支予算」は、一括上程され審議の上、可決承認されました。

事業としては、「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」は、これまで加盟団体並びに教育委員会と連携のうえ実施されてきましたが、25年度からは調査研究事業の位置づけとして、各学校で取り組む課題を明示し、公募制を採用して実施地区の制限を設けます。現代的な健康課題への対応をより効果的にしていくためには、学校歯科医の資質向上が不可欠であることから自己研鑽を図る会員を支援するため、「学校歯科医生涯研修制度」の中に専門研修を位置づけていくことになりました。発達段階の応じた「食べ方などの食教育と口腔機能の健全発育」の普及のためのモデル事業や私立学校における歯科保健活動普及のためのモデル事業を行います。第52回全日本学校歯科保健優良校表彰については、小学校の部では被表彰校を3校に増やすことになりました。歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

は対象を全校種に拡大されます。現在、文部科学省で行われている「今後の健康診断の在り方等に関する検討会」に役員を派遣し、対応を図っているとので、25年度からは各論について検討されるそうです。発刊予定だった「学校歯科医の活動指針改訂版」については、委員会ではほぼ検討を終えましたが、文部科学省検討委員会の検討内容との整合性を図ることから発刊を見合わせているとのこと。事業に関わる予算については、各種積立資産を取崩しつつ実施している現状を改善し、プライマリーバランスの確保を図ったとのこと。また、広報費に関わる印刷費の見直しを図られ、広報誌の発行が増えることになりました。

最後に、第77回全国学校歯科保健研究大会（10月17日・18日：熊本県熊本市）と、第63回全国学校保健研究大会（11月7日・8日：秋田県秋田市）ならびに全国学校歯科医協議会（11月7日）の開催予告がそれぞれの県の代表会員からあり、閉会となりました。

電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の3名の専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
医療アドバイザー	大曾根正幸氏	保険請求や各種届出などに関すること
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



茨城県歯科医師会事務局
電話 029-253-2561
FAX 029-253-1075

学校歯科委員会からのお知らせ

<日本学校歯科医会ホームページをのぞいてみよう>

日本学校歯科医会トピックス

- ① 「学校歯科保健を通しての児童虐待に関する考察～加盟団体アンケートから～」(デジタルブック)について

平成23・24年度日学歯普及委員会が全国53加盟団体に対して行ったアンケートをまとめたもので、デジタルブックとして公開しています。

- ② 学校歯科保健指導用資料「歯肉炎予防大作戦 GOってな～に？」

「どうして歯肉炎になるのか」「どうすれば予防できるのか」など、アニメーションで子どもたちにもわかりやすく解説しています。ダウンロードすることで使用できます。保健指導にご活用ください。

※ 姉妹編：「むし歯予防大作戦 COってな～に？」もあります。

- ③ 平成25年度「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)

毎年6月4日～10日は、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発とともに国民の健康の保持増進に寄与することを目的とした「歯の衛生週間」として広く親しまれ、関連事業が行われてきましたが、平成24年度からは、「歯と口の健康週間」に名称が変更になります。

- ④ 学校歯科医叙勲基準の改正について

日学歯では、「学校歯科医の叙勲基準の改正」について、文部科学省ならびに内閣府賞勲局と協議を進めてきましたが、学校歯科医を含めた学校三師の叙勲基準が改正され、「70歳以上、40年以上の校医歴」となり、複数校兼務の条件が廃止されました。この基準は平成25年度秋の叙勲より適用となります。

その他 会員専用ページにも資料等がありますので、ぜひご覧になってください。

茨歯会ホームページからも日学歯ホームページにリンクしています。

<平成24年度学校保健統計について>

日学歯速報値(歯科抜粋)については、平成25年2月号P21に掲載しましたが、茨城県歯科医師会ホームページにも掲載しました。

また、3月29日に文部科学省より発表になりました確定値については、茨歯会ホームページの会員サイト(学校歯科)から政府統計の総合窓口(e-Stat)にリンクしていますので、そちらからご覧ください。

平成24年度 茨城県よい歯の学校表彰調査に おけるデータの公開

茨城県教育委員会のご協力により、本年度からは市町村別12歳児DMFT歯数のほかに中学校におけるGO及びGの者の割合のデータも公開いただきましたので、会報に掲載します。

なお、茨歯会ホームページ・学校歯科保健関係者のところにも掲載しています。

平成24年度 茨城県よい歯の学校表彰調査(12歳児DMFT歯数及び中学校におけるGO・Gの者の割合)

	市町村名	12歳児DMFT歯数	中学校におけるGOの者の割合	中学校におけるGの者の割合
1	水戸市	1.19	20.45	4.17
2	笠間市	1.32	22.64	1.64
3	ひたちなか市	1.74	16.51	9.90
4	常陸大宮市	1.09	21.14	2.26
5	那珂市	2.21	19.93	0.94
6	茨城町	0.72	10.27	4.73
7	小美玉市	1.52	8.50	2.38
8	城里町	1.79	30.61	9.74
9	大洗町	2.63	25.74	10.64
10	東海村	1.37	33.51	5.79
11	大子町	0.74	0.70	0.46
12	日立市	0.69	9.78	1.36
13	常陸太田市	1.54	8.36	4.44
14	高萩市	0.72	3.66	3.79
15	北茨城市	1.37	5.04	0.60
16	鹿嶋市	1.48	6.06	1.43
17	鉾田市	0.81	4.44	4.98
18	神栖市	1.39	21.65	3.57
19	潮来市	2.33	29.46	2.93
20	行方市	1.19	17.33	5.49
21	土浦市	1.17	21.84	0.78
22	石岡市	2.83	17.95	0.52
23	龍ヶ崎市	1.38	21.43	5.06
24	取手市	1.03	12.30	3.19
25	牛久市	1.06	10.65	1.07
26	つくば市	1.03	11.71	5.26
27	美浦村	3.90	16.59	1.84
28	阿見町	1.44	13.95	2.69
29	稲敷市	1.39	19.60	2.44
30	河内町	1.09	42.39	6.88
31	かすみがうら市	1.48	2.60	0.00
32	つくばみらい市	1.43	20.89	4.25
33	守谷市	0.83	16.47	8.38
34	利根町	1.48	6.63	1.51
35	古河市	1.31	17.91	10.60
36	筑西市	1.41	11.10	1.67
37	結城市	1.22	13.60	2.38
38	下妻市	1.61	8.24	2.06
39	常総市	2.27	29.79	5.86
40	坂東市	1.65	30.01	8.13
41	桜川市	1.47	15.10	0.46
42	八千代町	2.06	21.18	8.79
43	五霞町	1.01	21.99	9.54
44	境町	1.08	15.42	5.23

障害児・者歯科医療シンポジウム報告

茨城県土浦心身障害者歯科治療センター
茨城県身体障害者小児歯科治療センター
丸山 容子、高木 信子、関口 浩、
村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

平成25年3月24日（日）に霞ヶ浦医療センターにおいて、障害者・児歯科医療シンポジウムを開催した。

「歯科とともに考える多職種連携」

主旨：「連携」をテーマに、私たちの住んでいるこの地域で、歯科医療の連携のあるべき姿を浮き彫りにし、顔が見える連携を目指すシンポジウムを企画した。開催に先立ち、口腔センター長の征矢 亘先生の挨拶がおこなわれた。シンポジウムの参加者は、42名であった。

講演 「多職種連携への試み～社会資源の活用～」

梶塚歯科クリニック 院長 歯科医師

梶塚 達夫 氏

医療・介護の現場で多職種間のつながりの必要性が言われ始めて久しい。医療保険でも、さまざま



講師 梶塚先生



主催者挨拶 征矢亘先生

まな形で医療連携の評価がなされている。当院での取り組みを通して、多職種連携について現状と課題を考えてみたい。

連携とは、システムや窓口さえあればいいものではなく、顔が見えなければ、連携は困難になる。

例えば、在宅医療の連携に関する課題では、

- ①専門職種間の連携では、多職種間での患者についての情報交換や話し合う機会が不足している。
- ②同職種連携では、病棟医師と在宅医、看護師同士など、同職種間での情報共有や交流が不十分である。
- ③医師との連携では、多忙な医師とは連携がとりづらく、気後れすることがあるため連携が困難。
- ④医療と介護の連携では、医療側の生活への理解不足、介護側の医療に関する知識不足のため、

お互いの理解や連携が不十分。
等があげられる。

そのため、連携の基盤となる関係がつくられていない。

連携をするためには、顔が見える関係をつくらなければならない。そのためには、患者さん自身、患者さんを取り巻く環境、人を知り、理解していかなければならない。

シンポジウムの前に、司会の高木伸子先生から、以下の主旨説明があった。

多職種連携というテーマで、今からシンポジウムをはじめます。5人の先生方に話をさせていただき、その後、ディスカッションをし、そして軽食を用意しておりますので、顔の見える連携をしてほしい。さて、高齢者社会を迎え、障害を持つ方々が以前にもまして増えてきた。その方々の生活を支える医療・福祉が求められ、歯科に於いて



司会進行



受講の様子

は、チーム医療、在宅歯科医療の推進が求められる。実際、医療保険にも反映されており、ニーズが高くなっている。以前のように、歩いてきて、口を開けくださるといふ患者さんは減ってきており、生活を支えるという視点で医療をしなければ、社会に認められない。他の職種の方がどんな仕事をしているかを知り、今回のように、顔を合わせ、連携につなげていきたい。

シンポジウム

1. 「急性期病院・がんセンターにおける歯科介入の重要性と連携における問題点」

筑波メディカルセンター病院 医師

石黒 慎吾 氏

①がん治療開始前からの歯科受診の意義

がん治療に伴う口腔トラブルの予防、軽減して、経口摂取支援、治療を乗り切る。

気力を支え、苦痛（歯、口腔に関して）の少ない質の高い治療。

口腔内ケア介入で術後肺炎の予防。

治療前後の感染の予防。

②筑波メディカルセンター病院での歯科との連携（院内に歯科がない場合）

医師の意識調査において、がん治療前に口腔内診査および問診に関して、「行なうことがある」・「したことがない」がほとんどで、「必ずする」というのはわずかであった。

しかし、歯科受診を勧めることは良い（歯科と



石黒先生

の連携)と考えている医師は多い。

そこで、当病院では

治療方針が決定した時点で事前の歯科受診を
推奨

患者の同意を得て開始

歯科医を選択する場合、かかりつけがない時は
連携登録歯科医リストの中から紹介先を選
択

歯科との連携を図るために

患者向けのパンフレットを作成 (患者の意識
改革)

歯科医向けの講習会の開催 (歯科医の知識と
技術UP)

連携歯科医としての登録

専用紹介状と記載システム (医師・歯科医師
の業務軽減)

③医科歯科連携の問題点

今後の課題

短期的

紹介が増えるように院内、特に医師以外への
意識改革

がんの専門的治療の予定に影響をおよぼさな
いように行えること 等

中期・長期的

院内歯科受診 (開業歯科医の往診システムの
立ち上げ)

歯科衛生士による病棟での口腔ケア教育の
確立 等

2. 「訪問看護における歯科との連携」

まちの看護ステーション 看護師

矢口 美恵子 氏

訪問看護とは、病気や障害を持った人が住み慣
れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れ
るように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケ
アを提供し、自立への援助を促し療養生活を支援
するサービスである。



矢口先生



手塚先生

利用者の歯や口腔の状況を調べると、残存歯・
義歯と食事摂取の状況、歯周病と舌の状態など口
腔内の状況を早期に把握し、歯科との連携をとる
ためにはどうしたらよいか課題が示された。アセ
スメントする力を養うとともに、迷うことなく歯
科との連携をとることによりチームケアが可能と
なる。

利用者の在宅生活は一職種では支えられないこ
とは十分理解しているが、「連携」がとれない。
今できること、これからやるべきことは、今、隣
り合う方と話すこと、相手を知ること。そして、
これからは患者さん一人ひとりをていねいにつな
ぐこと、それを積み重ねること。

3. 「訪問栄養における歯科との連携」

たかぎ歯科 管理栄養士 手塚 文栄 氏

口のトラブルを診て食べられる口にするのが歯
科医で、口をきれいにし、口の機能を高めるの

が歯科衛生士で、つまり歯科医療は食べられる口づくりということになる。また、口の機能改善には、それにあった調理形態と体に必要な栄養を含んだ食事を日々用意、手抜きの技が必要だから、栄養士、そして多職種の知恵。

低栄養発見には、皆さまの協力が必要となる。主介護者・家族の気持ち、専門職（栄養士、歯科医師、衛生士、ケアマネ、医師、看護師、PT、OT、ST）の評価、主治医の理解と見守り。

4. 「言語聴覚士（ST）における歯科との連携」

水戸メディカルカレッジ 言語聴覚士

濱田 陽介氏

摂食嚥下リハビリにおいてSTができることは、摂食機能・嚥下機能の総合的評価、

摂食嚥下機能療法の立案と実施、評価に基づくCure/Care方針についての提案。

STが歯科補綴に求めることは、嚥下機能の継時的変化に対応した、義歯の補修・作製。義歯の適切な扱い方・情報収集のアドバイス・指導。嚥下機能の改善・代償により適した歯科補綴の提案など。

STが歯科との地域連携にもとめることは、かかりつけ医としての地域の開業歯科医と、施設に所属するSTとの「声の届く連携」「顔の見える協働」、訪問歯科診療におけるVEの普及。

5. 「訪問依頼時の電話での聞き取りの実際」

たかぎ歯科 受付 清水 絵理子氏

訪問依頼の最初の窓口は、受付である。電話されてくる方は、患者さんの家族だけではなく、ケアマネージャー、訪問看護師、主治医などの場合がある。その訪問に必要な患者さんの情報を聞きとる。

どんな方のところへ訪問するのか、ご本人や家族が何を求めているか、訪問する院長やスタッフがイメージしやすいように、会話の中で得た様々な情報や印象も伝える。



濱田先生



清水氏



ディスカッション

受付は、患者さんと院長や訪問スタッフを繋ぐ架け橋＝つなぎ役である。その都度、患者さんの気持ちを受け止めながら、患者さんの一番望んでいるものを聞き取り、院長に患者さんの言葉を伝えられるように心がけている。地域の中で、患者さんと、患者さんを取りまく関係者のみなさまとコミュニケーションのとれる受付になれるように励みたいと思う。



【24年度卒業式挙行】 喜びと期待を胸に

3月6日（水）午前10時から茨城県歯科医師会館講堂で卒業生を含めて関係者約260名を集めて茨城歯科専門学校の卒業式が挙行されました。

本年度は歯科衛生士科40名、歯科技工士科11名が式に臨みました。

式は、田中晃伸教頭の司会により進められ、国歌斉唱、校歌斉唱に続き小澤永久教務副部長（歯科衛生士科）野口知彦教務副部長（歯科技工士科）が卒業生の氏名点呼を行い、小鹿典雄学校長から一人ひとりに卒業証書、記念品が授与されました。



卒業証書、記念品の授与

次いで成績優秀者・無欠席者・特待生の表彰が行われました。

◇成績優秀者

（歯科衛生士科）

長山祥子さん、兵藤京美さん、

堀江絢子さん

（歯科技工士科）

北川未来さん、吹野仁紀さん

◇皆勤賞

（歯科衛生士科）

長山祥子さん他6名

（歯科技工士科）

市毛未久さん他1名

◇特待生褒賞

（歯科衛生士科）

長山祥子さん

（歯科技工士科）

北川未来さん

◇特別表彰（いばらき専門カレッジリーグ賞）

（歯科衛生士科）

會澤奏さん

（歯科技工士科）

泉美砂さん

以上の卒業生に表彰状と記念品が授与されました。

引き続き、日本歯科衛生士会長表彰ならびに日本歯科技工士会長表彰があり県歯科衛生士会会長ならびに県歯科技工士会会長からそれぞれ長山祥子さん、吹野仁紀さんに表彰状と記念品が贈られました。

式辞で小鹿学校長は「これから皆さんには歯科医療のプロとしての仕事が求められます。仕事を覚え、技術に磨きをかけるために更なる研鑽を積んでください。そして今日の感激を忘れず、真摯な心で、常に正しく、強く、高く邁進することを期待します。」とはなむけの言葉を送られました。

続いて森永和男県歯科医師会会長、鈴木一央県歯科技工士会会長、芹澤鏡子県歯科衛生士会会長の祝辞を受けました。

また、野坂洋一郎つくば歯科衛生専門学校長、小河原智美歯科衛生士科同窓会真珠会副会長、瀬谷公子歯科技工士科同窓会みわ会長らの来賓紹介が行われました。

その後、在校生の棚谷美咲さんの「人々に愛される歯科衛生士、歯科技工士になって私たちの模範でいて下さい」と心のこもった送辞を受けて北川未来さんが卒業生を代表して感謝の言葉とともに「立派な歯科衛生士、技工士になることを誓います」と答辞を述べました。



送辞を述べる棚谷美咲さん



答辞を述べる北川未来さん

卒業生代表の高星あかねさんからの記念品贈呈で式は終了し、記念撮影の後、卒業生や関係者は謝恩会会場「フェリヴェールサンシャイン」に向かいました。
(文責 山田)

【謝恩会】

3月6日(水)午後2時よりフェリヴェールサンシャインにおいて、歯科衛生士科ならびに歯科技工士科の卒業生主催による謝恩会が開催されました。

卒業生 中澤慎也君と荒蒔由紀子さんの司会進行のもと、はじめに、謝恩会委員長である歯科衛生士科の植田くるみさんより挨拶がありました。

続いて学校長小鹿典雄先生と茨城県歯科医師会会長森永和男先生よりお言葉をいただきました。

その後、2年あるいは3年間の感謝を込めて、歯科衛生士科の菅野梨奈さんより、教頭田中晃伸先生へ花束贈呈が行われました。

いよいよ、田中晃伸先生のご発声により、乾杯が行われ、歓談に入り、楽しい時間を過ごしました。



歯科技工士科、歯科衛生士科それぞれが、余興として2年間あるいは3年間の思い出をまとめたスライドショーが行われました。スライドショーも卒業生が事前に作成し、学生生活を振り返り、会場全体が懐かしさと感動に溢れました。また、両科によるビンゴゲームが行われました。豪華景品も用意され、全員夢中になって参加していました。

ビンゴゲームの後には、歯科衛生士科の卒業生が歌を披露し、会場は再び感動の渦に包まれました。

最後に、茨城歯科専門学校の今後の発展、繁栄を祈念し、卒業生を代表して歯科技工士科の藤田翔君と共に、3本締めで閉会となりました。

先生方と学生との交流も図れ、学生からの感謝のこもったとても良い謝恩会となったことと思います。
(文責 鬼澤)

全国歯科衛生士教育協議会 及び設立50周年記念の会に参加

教頭 田中 晃伸

歯科衛生士教育に関わる関係者の団体である全国歯科衛生士教育協議会が3月27日に東京メトロポリタンホテルにて開催され参加して参りました。本年は設立50周年ということでその記念の会も催されました。

協議会では歯科衛生士教育に関する活動報告や次年度体制などの協議があった後、記念会が行われ日本歯科医師会大久保満男会長、日本歯科衛生士会金沢紀子会長などが祝辞を述べられました。

さて、この会は歯科衛生士養成校の関係者が一堂に集まるため、情報収集の場としては大変有意義であります。

顔見知りの大学関係者もいれば、私と同様に歯科医師会々立の養成校担当理事などもおり、お互いに名刺交換した後に情報交換をする訳ですが、V字回復している県もあれば、いまだ低迷から脱却できない県もあります。

ある県では遠方の学生を勧誘するため寮設備まで建設している養成校などもありうらやましい限りでした。ただどの県の担当者と話をしても全員一致しているのは「歯科医師自らがもっと意識を持って歯科衛生士養成に関心を持って貰いたい。」ということでした。

いずれにしろこういった情報交換の中から茨城県で応用できるものは積極的に取り入れ、少しでも学生の質と量の確保をしたいと思えます。



受験生勧誘のためのご協力を！

さて4月からすでに我々では、本年度（26年4月入学）の受験生増加を目指して、勧誘を始めております。

大変アナログな方法ではありますが、最も効果的な方法は高等学校への訪問であります。

そこで昨年同様、本年度も高等学校歯科医の先生方には、歯科検診の際に専門学校のポスター・案内・入試要項等をお持ちいただき、是非とも進路担当の先生に直接お渡しいただければ幸いです。

また、その時に専門学校への進学に興味がある学生さんがいる場合や進路担当の先生が興味を抱いている場合は、私教頭又は当校事務局が説明に伺いますのでご一報いただければ幸いです。

何卒、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

土浦石岡歯科医師会 学術講演会

演題 「救急救命講座」

～ACLS2010準拠を中心に～

講師 公益社団法人地域医療振興協会

石岡第一病院口腔外科 萩原 敏之 先生



(社)土浦石岡歯科医師会 福田 真之

平成25年2月16日 土浦市県南生涯学習センターにて上記演題にて学術講演会が開催されました。以下簡単に講演内容を報告いたします。

『緊急時冷静に対処するためには、

- ・自分のことは考えない！ひたすら患者さんが助かることだけに集中する。
- ・緊急時の備えを万全に。まず薬よりもシミュレーションして訓練を！』

という冒頭のスライドから講演は始まりました。

ACLSとは？

- ・日本ACLS協会が日本国内で救急講習を行っているトレーニングサイト
- ・AHA（米国心臓協会）の国際トレーニングセンターの一つ
- ・2002年創立で日本の救急トレーニングサイトの草分け
- ・現在はここから分かれて日本には他に6つのトレーニングサイトがある

→このACLSは、2005年準拠と比較して2010年準拠において大きな変更点が2つありました。ひとつは、使用する薬剤が変わったこと。も

うひとつは従来のABCという概念が無くなったことです。ABCはCABになりました。

『年間どれぐらいの人が歯科医院で亡くなっているのか？』

- ・毎年5～10人が歯科医院で亡くなっています。
- ・その半数以上は、心筋梗塞と脳卒中です。

『アナフィラキシーではどれぐらい亡くなっているのか？』

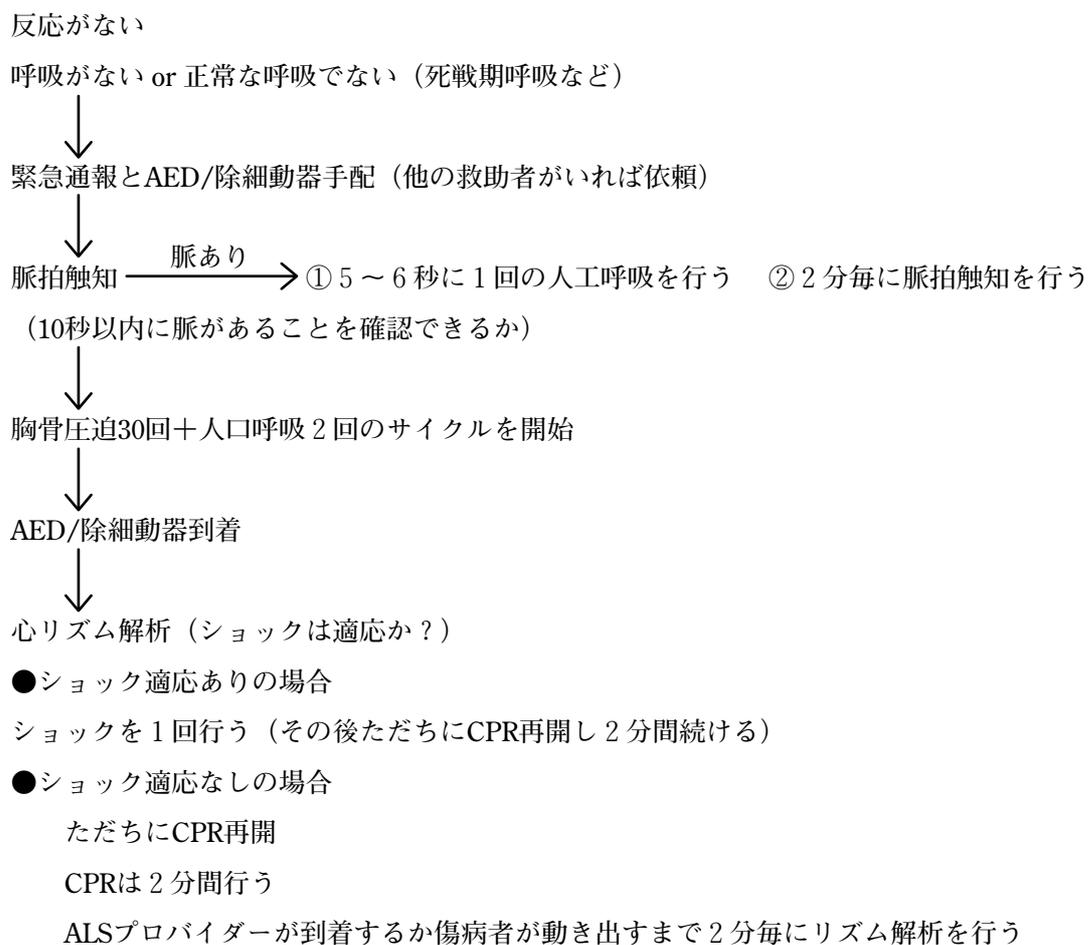
- ・歯科医院で亡くなる人の5%ぐらい。
- ・つまり3年に一人ぐらい日本中のどこかの歯科医院で亡くなる確率。

緊急時に大事な6つのこと

- | | |
|--------|---------|
| 1. 意識 | 4. 酸素 |
| 2. 救急車 | 5. モニター |
| 3. 記録 | 6. 静脈路 |

これらをスタッフ内で役割分担をし、日頃訓練をしてチームで行っていくことが大切です。この時ドクターは監督者に徹すること。

●BLS (basic life support)



とにかくやるべきことは

1. 119番通報 (人を集めること)
2. 胸の真ん中を強く押すこと

です。

質の高いCPR

- ・ 圧迫の速さは100回/分以上
- ・ 圧迫の深さは5cm以上
- ・ 圧迫毎に力を抜き胸壁を完全に元の位置へ戻す
- ・ 胸骨圧迫の中断は最小限 (10秒以内)
- ・ 過換気を避ける

薬剤の話

① アナフィラキシーで使用する薬剤

- ・酸素
- ・アドレナリン0.3mg（～1mg）
- ・副腎皮質ステロイド
（ソルコステフ250mg）…喉頭浮腫を防ぐため

もし、アナフィラキシーと思われる症例に出会ったら、

- ・眼けん周囲の浮腫、皮膚の発赤、鼻水、のどのいがらっぽさ、発音困難、呼吸困難などの臨床症状が急速に出たらすぐにアナフィラキシーを疑う。
- ・疑ったら、一呼吸してまずはこちらが冷静に
- ・「記録・モニター・酸素・静脈路確保」
- ・アドレナリン、ステロイド準備
- ・呼吸困難があれば意識があってもすぐに救急車
- ・静脈路確保に自信がなければ、鼻咽腔エアウェイ挿入とアドレナリン皮下注だけでも

② VF/VTにおいて使用する薬剤

- ・酸素
- ・アドレナリン1mg
- ・アミオダロン300mg

③ 心静止/PEAにおいて使用する薬剤

- ・酸素
- ・アドレナリン1mg

④ 心筋梗塞初期に使用する薬剤

- ・酸素
- ・アスピリン325mg
- ・ニトログリセリン舌下錠0.3mg×3錠まで
- ・モルヒネ

⑤ 除脈ケースで使用する薬剤

- ・酸素
- ・アトロピン0.5mg（3mgまで）
- ・ドパミン2-10 μ g/kg/分 持続静注

⑥ 頻脈ケースで使用する薬剤

- ・酸素
- ・アデノシン（アデホス、APT）10～20mg

⑦ 脳卒中の可能性があるケースで使用する薬剤

- ・酸素のみ
- おかしいと感じた時の時刻を記録しておくこと。
その後の治療に影響する。

⑧ 糖尿病

- ・緊急性があるのは低血糖。
- 頻脈、発汗、振戦、顔面蒼白など
意識があればオロナミンCか飴玉。無ければ
50%ブドウ糖20ml投与。

静脈路確保に自信が無い場合、救急薬として置いておくなら、

- ・酸素
- ・アドレナリン
- ・アトロピン

だけでもよいのでは。

最後に心電図の話

- ・不整脈があるか
- ・ST変化があるか
- ・QRS幅は？

この3点については歯科医師でも知っておくべきことです。

以上とても内容の濃い講演会でした。緊急時への備えは日頃からの準備が大切です。



独立行政法人福祉医療機構貸付利率より医療貸付事業の貸付利率の改定について、次のとおり通知がありましたので、お知らせいたします。

福祉医療機構（医療貸付）貸付利率表

固定金利

平成 25 年 4 月 10 日 改定

施設の種類	資金の種類		利 率	
			新	旧
病 院 診療所	新築資金		年 0.90%	年 1.10%
	増改築資金	甲種		
		乙種	年 1.40%	年 1.60%
	機械購入資金		年 1.00%	年 0.90%
長期運転資金				

10年経過後金利見直し（当初10年）

平成 25 年 4 月 10 日 改定

施設の種類	資金の種類		利 率	
			新	旧
病 院 診療所	新築資金		年 0.50%	年 0.60%
	増改築資金	甲種		
		乙種	年 1.00%	年 1.10%

※詳細につきましては、独立行政法人福祉医療機構ホームページ・金利情報ページ

(<http://hp.wam.go.jp/kinri/tabid/67/Default.aspx>) に掲載されておりますので、併せてご利用願います。

茨歯アンテナ

2013年 3月31日 (日) 朝日新聞

顔や口「筋トレ」健康に

水戸市歯科医師会、口腔ケア講習



歯ブラシの柄をかんで笑顔づくりの練習＝水戸市の千波市民センター

水戸市歯科医師会（諸岡光夫会長）が、健康に生活できる寿命（健康寿命）を延ばそうと、口腔ケアの講習会を5年前から手弁当で続けている。力を入れているのは顔や口の「筋トレ」だ。

誤嚥性肺炎の防止期待

水戸市の千波市民センターに24日、40人を超える地区の老年者が集まった。2008年2月の見和地区から数えて11回目。歯科医師会の在宅訪問診療委員会が主催する。講演では、講師役の歯科医が一つの病名を口にした。

「誤嚥性肺炎」。細菌を含んだ汚れた唾液や食べかすが、あやまって気管に入ってしまうことなどで起きる病気で、65歳から急増するといふ。正しい歯磨きや舌のブラッシングで口の中をきれいに保てばよいと思われがちだが、歯科医師は「それだけでは防げない」。「大事な筋トレです」と呼びかけた。

唇、舌、ほお、のどの筋肉が衰えると、かんで飲み込む機能が低下し、誤嚥を引き起こす。最初に伝授した筋トレは「パ・タ・カ」の発声。上下の唇を合わせてはじく「パ」。舌先で上の前歯の裏をはじく

トレーニング用の短文

- ・あなたに会いたい アイウエオ
 - ・顔がかわいい カキクケコ
 - ・さっそく誘って サシスセソ
 - ・たまにはたっぷり タチツテト
 - ・ならんで仲良く ナニヌネノ
 - ・はっきり発音 ハヒフヘホ
 - ・毎日前向き マミムメモ
 - ・やきもちやくなよ ヤイユエヨ
 - ・らくしてランラン ラリルレロ
 - ・私に笑って ワイウエオ
 - ・らぶりぶ るぶれぶ ろぶれぶ
- にあいにくにお
(水戸市歯科医師会資料から)

「タ」。舌の奥で上あごをはじく「カ」。大きな声で速く発声することがポイントとなる。「あなたに会いたいアイウエオ」といった短文の発声を練習したほか、横にした歯ブラシの柄を前歯で軽くかみ、鏡を見ながら口角を上げて笑顔をつくることも紹介した。これは「心の健康」のためという。

一緒に練習しながら、参加者たちは終始、笑顔を見せた。「家でやってみよう」「友達に教えてあげなくちゃ」。そうした声が挙がった。

講習会は、委員会メンバーがふだんの診療をしながら準備し、無報酬で参加している。このため、年2、3回しか開くことができない。水戸市歯科医師会の横須賀均副会長(62)は「まだ市内の3分の1を回ったに過ぎないが、それでも自立した高齢者が増えることが、これからの地域社会には重要。しっかりと続けていきます」と話した。

(猪瀬明博)



3月の最終土曜日に、娘二人が入部していた地元の中学校の吹奏楽部の定期演奏会が、開催された。今年の定期演奏会には私にとっても格別な思いがあった。

それは、娘達がお世話になった顧問の先生の転任が、決まっていたので、この日が指揮を振る先生の姿を見るのが最後となるためでもあった。

思えば10年前、上の娘が中学一年生になった時に赴任して来られ、国語の先生でしたが、吹奏楽に掛ける熱い情熱は、部員だけでなく保護者にも伝わるものがあった。

翌年には、B部門にて東関東大会「金賞」、その翌年の上の娘が三年生の時には、東日本学校吹奏楽大会「金賞」等。2011年には娘達の非願でもあった全国大会出場、そして栄えある「金賞」受賞という輝かしい功績を残した。

私も娘二人が部員であった5年間、保護者会長として、吹奏楽部が円滑に活動出来るよう、保護者をまとめていくのが大変でした。

中でも、数年間中断していた定期演奏会を再会させた時のことで、全てが初めての演奏会であったため、当日の開場ぎりぎりまで、昼食も摂れずに、右往左往していたことが、昨日のように思い出される。その甲斐あって割れんばかりの拍手で、幕を閉じることが出来た。そしてその後の定期演奏会の礎となったことが、私の一番の思いでもあり、誇りでもある。

将に、私自身にとっても、熱く走り抜けた5年間であったが、一つだけ汚点を残したことが、今でも悔いが残る。それは、顧問との5年間の最後の酒宴の席で、不覚にも、あまりの楽しさからか、我を忘れる程泥酔してしまい、家内に相当迷惑を

かけ、それ以来家内の前では、日本酒を一滴も飲めなくなった。ただいま6年目に突入中……。

最後に顧問の先生が、この吹奏楽部に残した言葉。「音を磨け 心を磨け」

先生、10年間、感動をありがとう。

(コスモッコ)

100周年記念誌は現在印刷作業中で、近々お手元にお届けできるかと思えます。編集をされていて気付いたことがたくさんありましたが、注目すべきは、ここ30年の会員数の推移です。昭和58年780名から平成4年1200名までは、毎年平均40名以上増加し、その後微増し平成14年には1332名に達します。しかし以降の10年は、ほぼ横ばいで、現在は1320名ぐらいです。新入会員と、物故会員のバランスですが、新入会員が減少しているのは明らかで、会報の「新入会員紹介」コーナーも最近では数か月に1度で、年間10名弱でしょうか。新規開業者のうち入会者は約3割程度のように。東京都などは、1割ぐらいだとか。

4月より、県歯の入会金が半額、しかも会員としては日歯と同じ1万円になりました。果たしてその効果はいかがなものか、今後数年の動向が楽しみです。しかし、まず地区歯科医師会への入会が前提ですから、この県歯の方向性をより確実にするためには、今後各地区での入会金の見直しも必要でしょう。

私が、今年50歳になりましたが、私より若い会員は300余名しかいません。恐ろしい事実です。組織の力の維持には、若い会員の確保が不可欠でしょう。入会するメリットをいかにアピールできるか、なかなか明文化しにくい面もありますが、広報委員会としてもその責務を担っていると痛感します。

(Hissy)

広告

医・歯学部現役合格を目指して



本校卒業生



平成26年度入試 生徒募集

中学校160名・高校40名(新規)

本校は創立以来、毎年輝かしい進学実績をあげています。特に医学部・歯学部への合格率は、全国でトップクラスです。またそのほとんどは現役合格で、予備校にも通わず、学校の授業と補習のみで合格しているのが特徴です。

創立以来の輝かしい合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	58
北海道大学	2	防衛医科大学校	8	九州大学	2	愛知学院大学	12
東北大学	5	自治医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17
名古屋大学	2	産業医科大学	2	新潟大学	2	北海道医療大学	42
大阪大学	1	日本医科大学	34	岡山大学	1	岩手医科大学	32
九州大学	1	東京慈恵会医科大学	19	広島大学	2	奥羽大学	102
東京医科歯科大学	1	順天堂大学	48	九州歯科大学	4	明海大学	135
千葉大学	6	昭和大学	56	長崎大学	2	神奈川歯科大学	75
筑波大学	1	日本大学	68	鹿児島大学	2	鶴見大学	82
群馬大学	4	東京医科大学	50	東京歯科大学	63	松本歯科大学	79
新潟大学	6	東邦大学	76	日本大学・歯、松戸歯	128	朝日大学	32
山梨大学	7	東京女子医科大学	10	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	176	福岡歯科大学	2

上記以外、国公立18大学55名 私立17大学863名

※数字は1982年～2012年度の延べ人数 ※順不同

学校・寮の見学は随時受付します。 入試室までお問合せください。

学校法人 秀明学園 **全寮制** **英国留学** **全人英才教育**

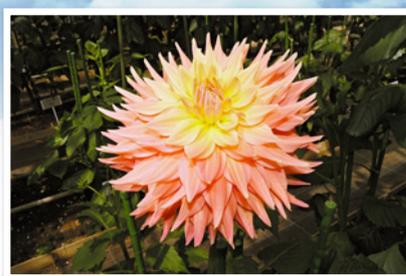
秀明中学・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp>

みんなの写真館

Photo Gallery

(社)茨城県つくば歯科医師会 小林健一



会 員 数

平成25年3月31日現在

支 部	会員数 (前月比)
日 立	120
珂 北	142 -2
水 戸	153
東西茨城	73
鹿 行	102 -1
土浦石岡	171
つ く ば	115
県 南	181
県 西	153 -1
西 南	106
計	1,316 -4

みんなの写真館写真募集 !!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,139名
 2種会員 39名
 終身会員 138名
 合 計 1,316名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 25 年 4 月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。